

<記入例>

小規模所有者は提出不要、前回提出分から変更なければ提出不要 定期報告書に添付する書類

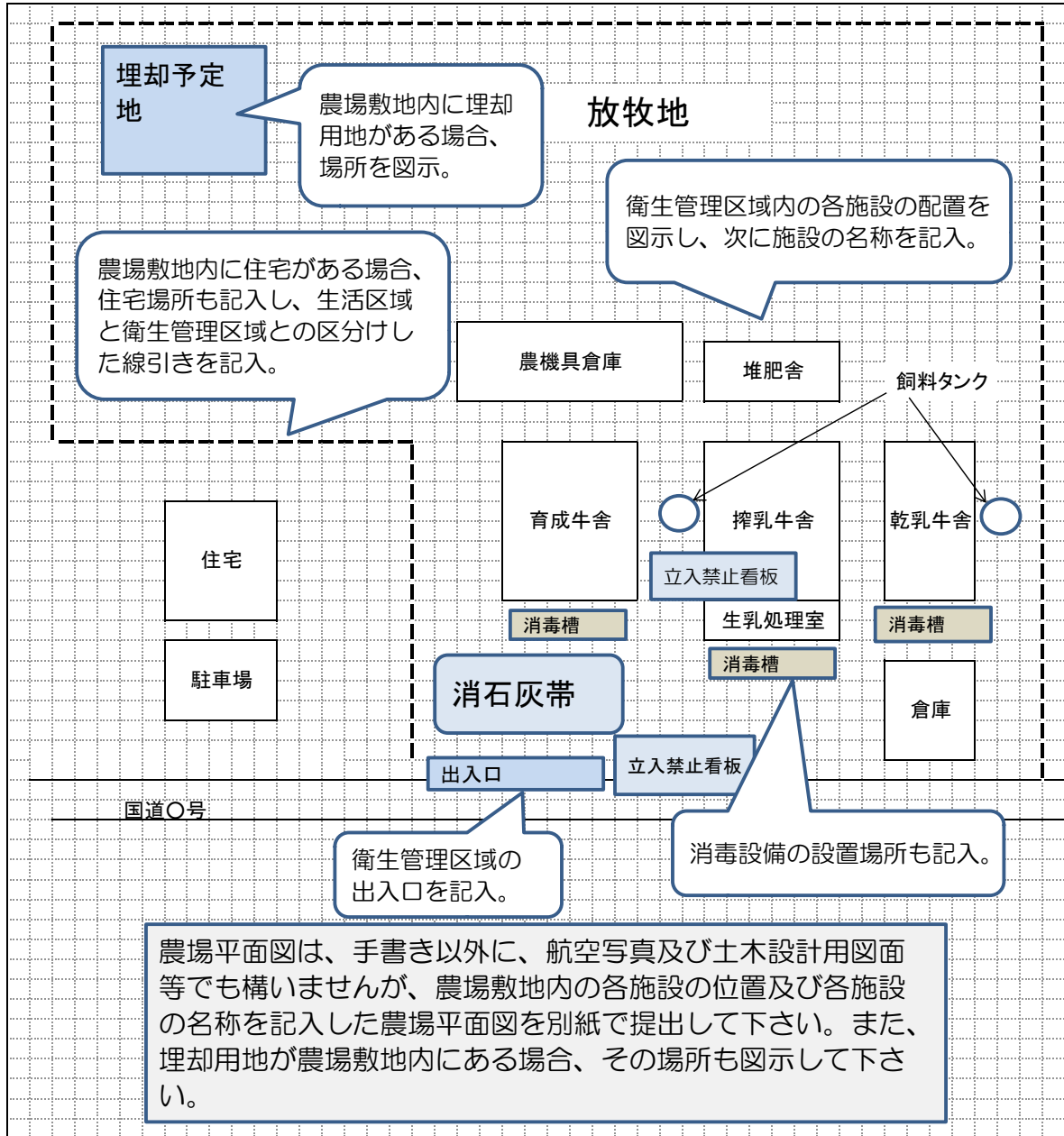
記入日 平成 30 年 2 月 5 日

1 農場の平面図

農場名がない場合、家畜の所有者を記入

農場の名称 網走太郎

農場の所在地 〇〇郡〇〇町××番地



記載事項

- ①衛生管理区域内の各施設の配置場所、名称(畜舎、立入禁止看板、飼料タンク、飼料倉庫、生乳処理室、たい肥化施設、農機具庫、パドック等)及び出入口と近辺の見取り図を記載してください。
 - ②農場敷地内に住居等の生活区域が存在する場合、生活区域と衛生管理区域を分けした線引きしてください。
 - ③消毒設備の設置場所(衛生管理区域、畜舎(ふ卵舎)の出入口)に設置した消毒設備)。
 - ④農場敷地内に埋却用地がある場合、その場所も記入してください。
- ※別紙での提出の場合、欄内に「別添」と記載。様式は自由ですが、上記の①～④までの事項については図面に記載してください。

＜記入例＞

小規模所有者は提出不要、前回提出分から変更なければ提出不要

2 必要のない者を衛生管理区域に立ち入らせないようにするとともに、衛生管理区域に立ち入った者が飼養する家畜に接触する機会を最小限とするために講じた措置の内容

○措置の内容について□にレを記入、複数回答可

◆衛生管理区域に立ち入らせない方法

柵・杭 プランター ロープ テープ ライン カラーコーン
 その他()

◆衛生管理区域に立ち入った者が家畜に接触させない方法

畜舎出入口に看板の設置 畜舎の施錠 監視カメラ
 その他()

3 衛生管理区域及び畜舎等の出入口付近に設置した特定疾病又は監視伝染病の発生を予防するために必要な消毒をする設備の種類

○消毒設備について□にレを記入、複数回答可

◆衛生管理区域の出入口の車両消毒

消石灰帯 消毒薬噴霧器 車両用消毒槽 車両用消毒ゲート 消毒マット
 その他()

◆畜舎等の出入口の人の消毒

踏込消毒槽 消毒薬噴霧器 消毒マット 手指消毒スプレー
 その他()

4 畜舎ごとの家畜の飼養密度(馬のみの所有者は記入不要)

○各畜舎の飼養密度について、自己評価を記載

畜舎	畜種	自己評価	畜舎	畜種	自己評価
		適正・やや過密・過密			適正・やや過密・過密
		適正・やや過密・過密			適正・やや過密・過密
		適正・やや過密・過密			適正・やや過密・過密
		適正・やや過密・過密			適正・やや過密・過密
		適正・やや過密・過密			適正・やや過密・過密

【参考】必要となる面積のめやす(畜舎の構造や環境によっても異なります)

畜種	面積
乳用牛	1頭当たり 2.4 m ² (単飼)、5.5 m ² (群飼)
肉用牛	1頭当たり 2.0 m ² (単飼)、5.4 m ² (群飼)
豚	1頭当たり 0.8 m ² (肥育)、1.2 m ² (母豚)
採卵鶏	1羽当たり 0.04~0.06 m ²
肉用鶏	1羽当たり 0.05~0.06 m ² (1坪当たり 60羽)

＜記入例＞

小規模所有者は提出不要、前回提出分から変更なければ提出不要

以下5～7は、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等で法令殺された家畜の死体や汚染物品の処分方法について記入

5 埋却の用に供する土地の確保の状況(馬のみの所有者は記入不要)

○次の該当する□にレの記入及び必要事項の記入

埋却地を確保 焼却・化製処理を検討(6に進む) 確保していない(7に進む)

 (①に進む)

番地まで記入

① 埋却用地の所在地 〇〇市〇〇町××番地

①農場内に埋却地がある場合
「農場内」と記入し、農場平面図にも記入

② 埋却用地の面積 〇〇〇 m² (目安:成牛

②農場から離れている場合

③ 農場から埋却地までの距離 農場内

距離数を記入

④ 埋却用地の利用状況 放牧地 採草地 畑 その他()

⑤ 埋却地の所有者 本人(⑧に進む) 本人以外(⑥に進む)

⑥ 土地所有者氏名又は名称

⑦ 土地利用に関する契約 有 (契約内容:

貸借契約を成立」、「契約書は交わしていないが承諾を得ている」等の概要を記入

無

⑧ 埋却用地の近隣住民その他の関係者への埋却の実施に関する説明の有無 有 無

⑨ ⑧の説明に対する当該関係者の承諾の有無 有 無

⑩ その他埋却の的確かつ迅速な実施のための参考となるべき事項
(近隣住民(町内会)以外の住民にも説明)

6 焼却又は化製のための準備措置(馬のみの所有者は記入不要)

○次の該当する□にレの記入及び必要事項の記入

① 焼却施設又は化製場の名称及び所在地

・名称 _____

・所在地 _____

② 農場から焼却施設又は化製場までの距離 _____

③ 焼却施設又は化製場の近隣住民その他の関係者への焼却又は化製の実施に関する説明の有無

有 無 その他(平常時、鶏の死体等は自社内で処理しているため不要)

④ ③の説明に対する当該関係者の承諾の有無 有 無 その他(③と同様)

7 埋却の用に供する土地、焼却施設又は化製場を確保していない場合にあつては、これらを確保するための取組の状況(馬のみの所有者は記入不要)

○次の該当する□にレの記入及び必要事項の記入

土地を探している 購入手続き中 市役所又は役場等に相談

地権者と交渉中 その他()

＜記入例＞

前回提出分から変更なければ提出不要
以下8～9は、大規模所有者のみ記入

◆大規模所有者

○牛の場合

区分	頭数	月齢	品種
成牛	200頭以上	満17月以上	乳用種の雄牛・交雑種の牛
		満24月以上	乳用種の雄牛・交雑種の牛以外の牛
育成	3,000頭以上	満4月～17月未満	乳用種の雄牛・交雑種の牛
		満4月～24月未満	乳用種の雄牛・交雑種の牛以外の牛

○水牛・馬の場合 200頭以上

○鹿・めん羊・山羊・豚・いのししの場合 3,000頭以上

○鶏・うずらの場合 10万羽以上

○あひる・きじ・だちょう・ほろほろ鳥・七面鳥の場合 1万羽以上

8 担当の獣医師の氏名及び所属又は担当の診療施設の名称

① 担当獣医師氏名	北海道 太郎		①または②のどちらか記入
担当獣医師所属	北海道大動物コンサルタント	連絡先	××-×××
② 担当診療施設名	北海道〇〇診療所	連絡先	××-×××

※管理獣医師がいる場合については、①の担当獣医師氏名及び担当獣医師所属を記入。家畜診療所に家畜の診療を依頼している場合は、②の診療施設名を記入。

9 大規模所有者にあつては、従業員が特定症状を確認した場合に家畜保健衛生所へ直ちに通報することを規定したものの写し(馬のみの所有者は記入不要)